

はじめに 7  
凡例 8

卷一 ※ 飛鳥・藤原地域の概説 9

- 1** 飛鳥・藤原地域の風土 10  
歴史的風土 10 / 飛鳥・藤原の名の由来 11 / 明日香村の大字や学区の変遷 13
- 2** 自然環境 15  
地勢・地形・山や丘陵 15 / 河川と古代のため池 18
- 3** 農業水利の発達 23  
井堰や分水による灌漑 23 / 飛鳥七堰 23 / 上流と下流の村間での水争い(木ノ葉の水は、木之本に落ちる) 24 / 吉野川分水 25 / 飛鳥第一・第二頭首工 25 / 農地利用の変遷 26 / 水田二毛作の普及とため池の築造 27 / 番水制と水利慣行 27 / 田畑輪換農法 28 / 近世のため池と遺跡 29 / 明治時代の農業とため池 29 / 東アジアにおける仏教の伝播 73 / 飛鳥寺の建立と全国的な技術革新の進展 75 / 飛鳥時代の医療・薬物利用・食文化 77

**3** 律令国家の形成と飛鳥・藤原 90

- 乙巳の変 90 / 難波遷都と国際情勢 90 / 改新の詔 91 / 部曲の廃止 91 / 大臣・大連から左大臣・右大臣へ 92 / 白村江の戦いと近江遷都 92 / 太政大臣と知太政官事 93 / 官司制の整備、六官制から二官八省制へ 93 / 国・評・五十戸制から国・郡・里制へ 94 / 京の成立 95 / 畿内制 95 / 壬申の乱 96 / 吉野の盟約 96 / 皇親政治 97 / 律令の制定 97 / 歴史書の編纂 98 / 班田制の施行と戸籍・計帳の作成 99 / 藤原京遷都 99 / シルクロードと飛鳥・藤原 101 / 平城京遷都 102 / 奈良・平安時代の飛鳥・藤原 103

**4** 中世の飛鳥・藤原 105

- 中世における飛鳥・藤原の寺院 105 / 飛鳥・藤原地域の荘園 107 / 興福寺の大和国支配 107 / 興福寺と多武峰 108 / 越智氏と多武峰 108 / 越智谷と越智郷 109 / 飛鳥・藤原地域の城跡 110 / 越智氏の滅亡と大和平安 110

- 4** 飛鳥・藤原における石材の利用 32  
古代に用いられた石材 32

**5** 世界文化遺産 38

- 飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群 38 / 世界遺産条約とは 38 / 世界文化遺産の評価基準 39 / 完全性と真実性 40 / 保護・管理の条件 40 / 世界遺産としての価値——飛鳥・藤原の「宮都」とは 41 / 顕著な普遍的価値の証明 41 / 構成資産とその構成要素 43

卷二 ※ 歴史と古代の国際交流 45

- 1** ヤマト政権と飛鳥・藤原 46  
飛鳥時代前史とヤマト政権 46 / 日本国誕生の時代 46 / 大王から天皇へ 48 / 天皇の宮殿と空間構造の変遷 48 / 王権による時間の支配 51 / 飛鳥時代の文化 54 / 女帝誕生の背景と皇位継承ルールの変化 59 / 遠飛鳥宮・近飛鳥宮 70 / 磐余周辺の宮から飛鳥宮へ 70
- 2** 飛鳥時代の国際交流 73

卷三 ※ 飛鳥・藤原地域の文化財 113

**1** さまざまな遺跡 114

- 宮殿や庭園などの遺跡 114 / 皇子の宮と豪族の居宅 124 / 古代飛鳥の道路 126 / 古代の市 129 / 古代の運河と水運 130 / 古代の建築・土木技術 132

**2** 飛鳥・藤原地域の寺院 137

- 初期寺院(石川精舎・大野丘北塔) 137 / 飛鳥の寺々 137 / 道教思想の受容 151

**3** 神社と祭祀 154

- 古代の祭祀 154 / 境界で行なわれる祭祀 154 / 飛鳥宮周辺の水辺祭祀 155 / 祈雨祭祀 156 / 藤原京の祭祀遺跡 157 / 飛鳥・藤原の神社 159

**4** 古墳 171

- 古墳時代から飛鳥時代へ 171 / 古墳の小型化と墳形変化 172 / 埋葬施設の変化 173

**5** その他の著名な遺跡 188

- さまざまな遺跡(生産・祭祀・饗宴・生活施設、防衛通信施

6 瓦・土器・木簡その他出土品・埋納品 199

埋蔵文化財の宝庫 199

7 仏像・古墳壁画・石造物 211

飛鳥時代の彫刻・工芸品・絵画 211／飛鳥・藤原の仏像 213／古墳壁画 223／飛鳥・藤原の石造物 227

8 中世の居館と山城跡 237

文化的景観・古民家・伝統的町並みなど 241

奥飛鳥の文化的景観と飛鳥・藤原地域の伝統的町並み 241

巻四 ※ 『万葉集』をはじめとする文学 251

1 飛鳥・藤原地域に関連する古代の文学 252

『万葉集』 252／『古事記』 254／『懐風藻』 255／『日本霊異記』 256／『藤氏家伝』 256

2 『万葉集』で詠まれた聖地・聖樹など 258

聖なる山、川、木 258／聖地（山・丘・森・原） 259／聖地（川・橋・池） 274／清らかな水に棲む動物を詠んだ万

3 『万葉集』と飛鳥・藤原の宮都 296

飛鳥宮と天武天皇 296／古郷（ふるさと）としての飛鳥・藤原 299／藤原宮を詠んだ万葉歌 303

4 前近代の文学と飛鳥・藤原 305

『古事記』と飛鳥・藤原の神話や伝説 305／『懐風藻』と皇子伝 307／大神氏と三輪山 309／『日本霊異記』と飛鳥・飛鳥時代 311／『藤氏家伝』の逸話 313／『古今和歌集』と飛鳥川・檜隈川 314／飛鳥・藤原に関連する近世の書 316

5 近現代の文学・芸術作品と飛鳥・藤原 318

文学に描かれた飛鳥・藤原 318／芸術作品に描かれた飛鳥・藤原 319

6 近現代における『万葉集』 321

近代以前の万葉学 321／国民的歌集としての近代の『万葉集』 321／アララギ派の歌人と『万葉集』 322／『万葉集』と軍国主義 323／現代における『万葉集』 324／代表的な現代の万葉学者 326／伝統文化としての短歌と令和の時代 327

巻五 ※ 民俗・伝承・文化 329

1 飛鳥時代の芸能・伝承された芸能 330

雅楽 330／雅楽の発展 331／伎楽 332／飛鳥の石造物と伎楽面 333／飛鳥・藤原地域を題材や舞台にした能や幸若舞曲 333／大和猿楽四座と多武峰の「八講猿楽」 335／摩多羅神面 336／多武峰談山能と談山能伝承会 337

2 祭礼・民俗行事 338

飛鳥・藤原地域で行なわれている祭礼・民俗行事の紹介 338

3 鎌足と入鹿にまつわる伝説・伝承 348

中臣鎌足と蘇我入鹿 348

4 伝説・伝承の地 356

さまざまな伝説の地 356

5 歴史のみち筋と鉄道開通の影響など 364

飛鳥・藤原地域のみち筋 364／歴史のみち筋 365

巻六 ※ 歴史的風土保存の経緯・現状と今後 371

1 歴史的風土保存の経緯 372

古都保存法の制定 372／飛鳥保存と一人の鍼灸師 372／「飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について」の閣議決定 373／古墳壁画の保存公開の経緯と寄附金つき記念切手事業 374／明日香村特別措置法の制定 375

2 行政セクターなどによる施策の推進 376

景観法の制定と明日香村での取り組み 376／文化観光推進法の制定と明日香村での取り組み 377

3 住民などによる景観の維持や伝統の継承 380

明日香村の集落景観の特性 380／伝統的な町家や集落景観の保全 381／無住社寺などの維持 384／あすかオナー制度（柵田オナーなど） 385／飛鳥里山クラブの活動 386／国営飛鳥歴史公園内での宿泊研修施設の整備 386／古民家を利用した宿泊施設の整備 387／飛鳥民家ステイを通じた体験交流の促進 387／漢方薬の伝

続 388 / 漢方の産業化への取り組み 389 / 「蘇」の復元製造 389 / 飛鳥鍋の復活と普及 390 / 明日香村伝承芸能保存会 391

## 付録

453

### 4 樹木・草花や作物による景観形成など 394

飛鳥・藤原の名木と風致の維持 394 / 万葉の草花や作物による景観形成 398

飛鳥・藤原地域関連年表 454

地図 飛鳥宮跡と周辺遺跡 469

本書に関連の主な皇室関係図 470

### 5 飛鳥・藤原地域の現状と今後 418

索引 471

## 巻七 ※ 飛鳥・藤原を歩く 421

あとがき 486

### 1 交通アクセス 423

飛鳥・藤原地域への電車での交通アクセス 423 / 各方面から飛鳥駅への近鉄電車でのアクセス 423 / JRを利用する場合 424 / 自動車による交通アクセス 425 / バス路線 426

### 2 博物館・資料館 427

### 3 文化財 431

### 4 陵墓・陵墓参考地 441

### 5 歌碑 444

## はじめに

飛鳥・藤原の地は、日本人の「心のふるさと」と呼ばれています。律令制による天皇を中心とした統一国家としての日本国は、六世紀末から八世紀初めにこの地で誕生しました。この時代には、中国（隋・唐）を中心とした東アジア文化圏が形成され、朝鮮半島も含めた国際交流が盛んに行なわれ、飛鳥時代は、わが国の伝統的文化と大陸から伝わった先進文化とを融合・発展させて、日本国の基礎がつけられた時代といえます。美しい飛鳥・藤原の田園風景の中には、数多くの遺跡が良好な状態で残されています。千三百年以上も続いてきた「日本国」誕生の記憶が刻まれており、それらは飛鳥時代のことを記した史書や歌集と相まって、当時の有り様や出来事を現代にまで伝えてくれます。

古都飛鳥保存財団は、この他に類例のない飛鳥・藤原地域の文化遺産と歴史的風土の保存・活用を図るとともに、古都における歴史的風土に関する国民の認識を深めることを目的とする公益法人です。当財団では、飛鳥・藤原地域の価値と魅力をより多くの人に知っていただくとともに、文化観光の振興にも結びつくことを願って、飛鳥・藤原まるごと博物館検定を実施することといたしました。

本テキストは、この検定試験の受験をめざす方々だけでなく、全国の飛鳥・藤原ファンや、この地に関心を持っておられる一般の方々にも、幅広く活用していただけるよう作成いたしました。一人でも多くの方が本テキストを手にとっていただき、実際にこの地を訪れ、この地に親しんでいただくことを期待しています。